

『いのちを大切に、進んで学ぶ、素直でたくましい子どもの育成』



NO 6

令和6年7月19日

文責：喜多三郎

島五小だより ふるさと安中大好き！

～すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくましさいっぱい～

○ 第1学期終了

青い空 青い海 白い入道雲 ツバメの巣立ち
ちこの夏 天地（あめつち）
平安でありますように



今日は、第1学期の終業式でした。71日間（1年生は69日間）の1学期が終了しました。毎日、子どものことで心配になるのが、「けがや事故なく安全に過ごせただろうか」「みんなと仲よく勉強したり遊んだりできただろうか」ということではないでしょうか。いつの時代も子どもたちの「安心・安全、笑顔」が、私たち大人の第一の願いであり、責務でもあります。このような思いの中、何より喜ばしいことは、この1学期間、台風等による臨時休業や感染症等による学級閉鎖等もなく、大きな事故や事件に巻き込まれるような事案がなかったということです。これもひとえに保護者の皆様、地域の皆様方の声かけや見守り、ご支援・ご協力のおかげと深く感謝申し上げます。しかしながら、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの予防等、まだまだ気を緩めることはできません。また、熱中症対策も注意が必要です。大雨等による自然災害も心配されます。この夏、天地（あめつち）平安でありますようにと祈るばかりです。明日から子どもたちは、43日間の楽しい夏休みに入ります。家庭や地域で過ごします。学校に比べ、自由な時間が増え、活動的、開放的になります。このようなとき、事故や事件に巻き込まれやすくなります。学校でも、「安全」については、繰り返し指導をしているところですが、思い出多き楽しい夏休みとなるよう、我が子よその子限らず、すべての子どもたちへの声かけと見守り等、指導をお願いします。

さて、23日（火）から個人面談が始まります。保護者の皆様方には何かとお忙しい中に、時間をとっていただきご参加いただくことに深く感謝を

いたします。面談の際、通知表を手渡します。どうぞご家族でお子様の長所や頑張りをしっかりと見届け、ほめてあげてください。認め、ほめてあげることで、子どもの「やる気」は大きくなり、さらに伸びようとする自信につながります。

また、夏休みは、普段できない仕事をさせるチャンスです。家族の一員として、家族のために働き、家族の役に立っているという体験と自覚が大切です。自己有用感の高揚にもつながります。仕事をさせると子どもは、いろいろと聞いてくるし、失敗もします。大人がする方が簡単で楽です。仕事をさせることは、親（大人）が楽になるためではなく、将来の子どもたちのためです。「言うことを聞かなくても、粘り強く、できることから始めさせてはいかがでしょうか。」

○安中地区民生児童委員の方々との交流会

6月28日（金）、安中地区民生児童委員の皆様方々とポッチャをとおした交流会を6年生が行いました。地区民生児童委員の皆さんも多数ご参加くださり、6年生も初めてのポッチャでしたが、喜んで参加し、楽しそうでした。交流会後、地区毎に分かれ、代表児童と民生児童委員の方と一緒に独居老人宅へ慰問を行いました。子どもたちはメッセージとともに、老人の皆さんと交流を図ることができました。どの地区においても、子どもたちの訪問に大変喜ばれていたとお聞きし、うれしく思いました。今後とも、自分たちでできることを考え、地域行事等へ積極的に参画できればと考えます。

○「元気に、楽しく、

気持ちよく 水泳指導終了！」

6/17日(月)から始まった水泳学習は、多少、天候に左右されましたが、どの学年も「水遊び」・「水泳の学習」をほぼ予定どおり実施することができました。授業では、泳法を学習するだけでなく、水の危険性を知り、安全に気をつけることも学習します。プールでの子どもたちの元気のいい歓声や表情が見ることができてうれしく思います。水泳の学習に際しては、健康観察や水着の準備等、保護者の皆様方には、ご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございました。

○ 子どもとしっかり向き合う夏休みに

夏休みの43日間を子どもたちは、家庭や地域で過ごします。毎日の時間を無駄に過ごすことなく、安心・安全で有意義に過ごしてほしいと思います。そのためには、家庭や地域の皆様方のお力添えが必要です。子どもたちの自立を焦ってはいけません。子どもたちにしっかりと向き合い、寄り添いながら自立を促していきたいものです。子どもが自立していくためには、多くの頼るものや依存するものが必要です。普段できないことができるこの夏休みに、子どもたちがさらに、安心や自信を深めることができるよう、しっかりとバランスよく手をかけ、品をかけ、心をかけてあげてください。感染症や熱中症等に十分気をつけながら、子どもたち一人一人が、安心・安全に最高の楽しい夏休みとなるようたくさんの思い出をつかってあげてください。また、共につくってください。2学期からも引き続き、本校教育活動に際しまして、ご理解・ご協力をよろしくお願いたします。

子どもは基本的に学校に行くことが本業なので、仕事や家事など「やらなくていい」とされていることがたくさんあります。でも、お父さんお母さん方は、働きに行ってお金を稼ぎながら、家ではごみを出したり、掃除をしたりしています。働きながら家事や育児をしている人など、一人で何役もこなしています。家族それぞれに役割があり、その役割を果たしているのですから、子どもに対しても一人の大人として接し、何か役割を決めたらいいと思いま

す。もし、お子さんが「やりたいことがない」と悩んでいるなら、家の中にあふれている「やるべきこと」を分担し、この夏休みやってもらったらどうでしょうか。お子さんの「やりたいこと」につながることもあるかもしれません。

教育の本質とは、「この人のようになりたい」という憧れだという人もいます。そうであるならば、保護者の皆さんがお子さんの教育で一番にすべきことは、自分の子どもに、「お母さん、お父さんみたいになりたい」と思ってもらえるように、日々を過ごすことです。特別、すごいことをする必要はありません。保護者の皆さん自身も自分たちの生活を見直し、今、目の前の生活に誠実に向き合って、工夫や改善を重ねる姿を見せること。日々、元気に一生懸命、頑張っている姿を見せることが大事です。この夏休み我が子としっかりと向き合って、家族で楽しい夏休みをお過ごしください。

夏休みも、

みんなちがって みんなすばらしい！

『笑顔いっぱい、ひとみ輝く第五小』

〈今後の行事予定〉

7月21日(日) 子ども会対抗球技大会

8月9日(金) 登校日(平和集会)

8月21日(水) 登校日

9月2日(月) 第2学期始業式(給食あり)

4日(水)～6日(金) 校内夏休み作品展
(体育館)

14日(土)～15日(日)

島原市合同科学作品展(島原市文化会館)

15日(日) 安中地区敬老会

19日(木) 4年生社会科見学(長崎市)

26日(木) 授業参観・学級部会

※変更になる場合があります。

